

HOGY



2011年4月21日(木)

第50期(2011年3月期) 決算説明会

(2010年4月1日～2011年3月31日)

代表取締役社長 最高経営責任者(CEO) 保木 潤一
取締役 管理本部長 高橋 一夫

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

-本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

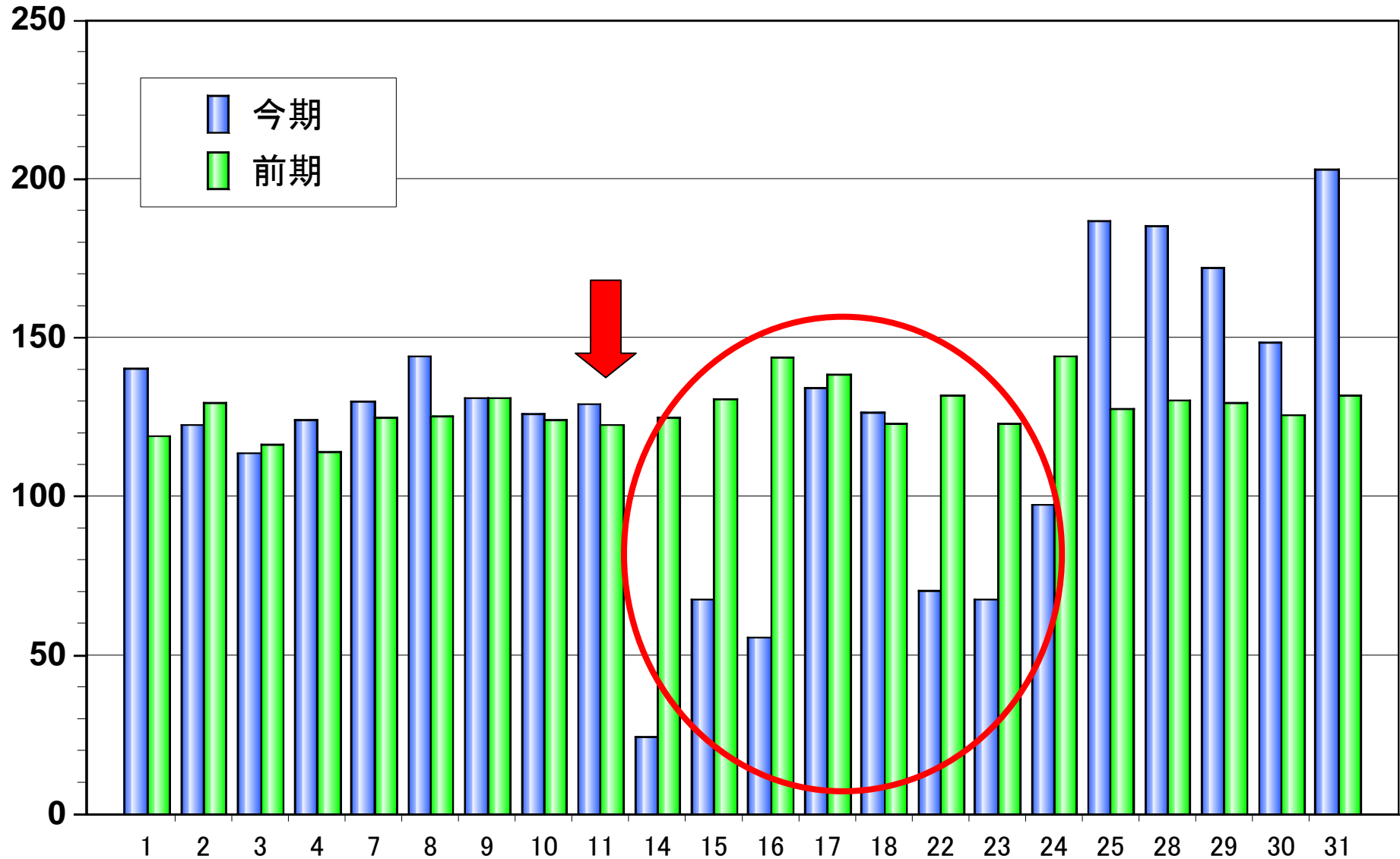
東日本大震災の影響

各設備の被害状況と現在の状況(4月21日現在)

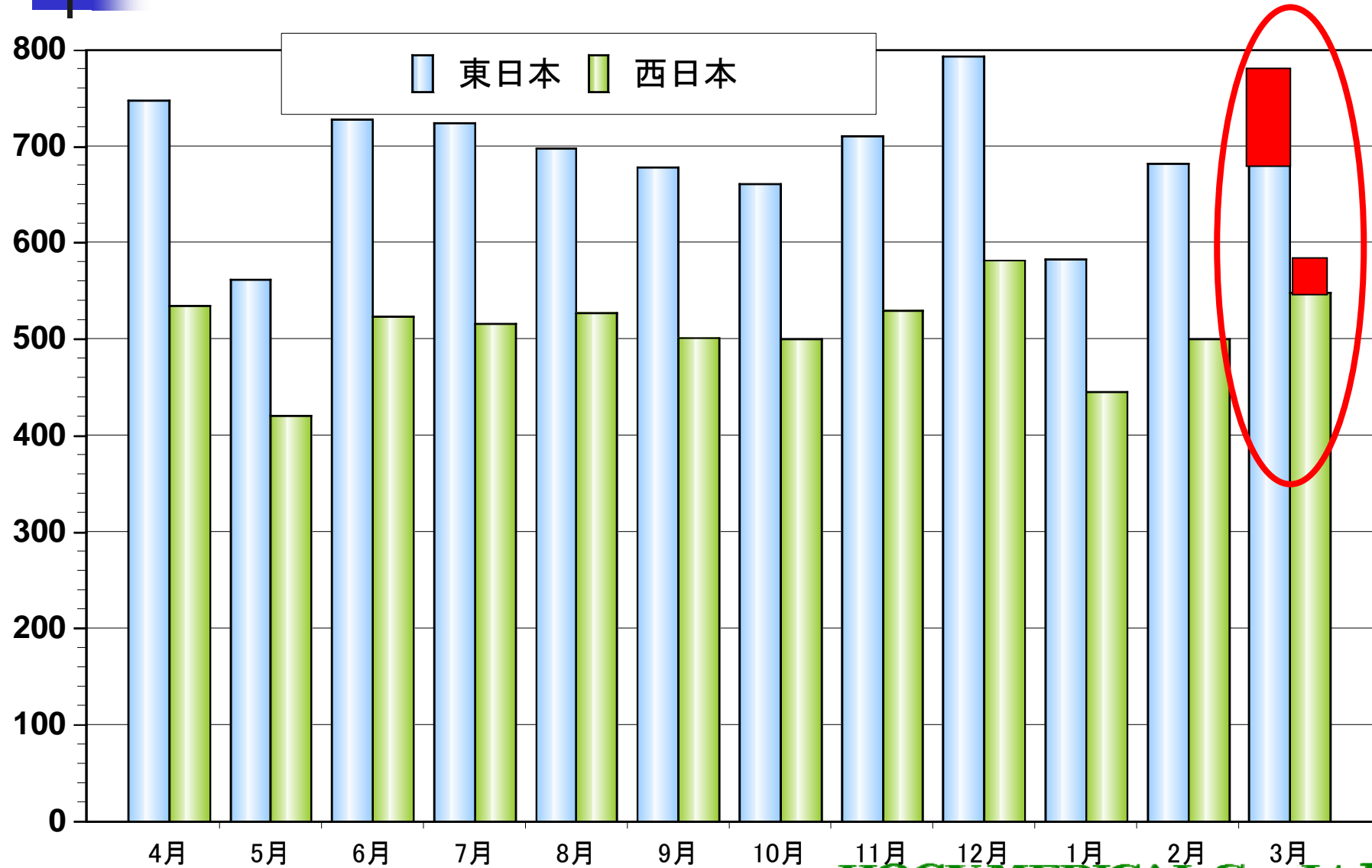
	被害状況	復旧時期
美浦第一工場 (メッキバッグ製造)	設備に大きな被害はなし	3月14日稼動
美浦第二工場 (ドレープ・通常キット製造)	メッキバッグ、ドレープの製造設備には大きな被害はなし キット製造を行っている2階では天井が崩落し生産停止	3月14日稼動 5月初旬を予定
筑波工場 (通常キット・オペラキット製造)	材料棚が崩れ設備の損傷	3月14日一部稼動 3月20日全稼動
	美浦第二工場で生産していたキットラインを筑波工場に移動	4月4日稼動
筑波配送センター	荷崩れにより一部設備の損傷 段階的に復旧	3月18日一部稼動 3月24日全稼動
筑波OPC	設備に大きな被害はなし	3月14日稼動
江戸崎配送センター	設備に大きな被害はなし	3月14日稼動
筑波滅菌センター	設備に大きな被害はなし	3月16日稼動

2011年3月 売上高(単体)

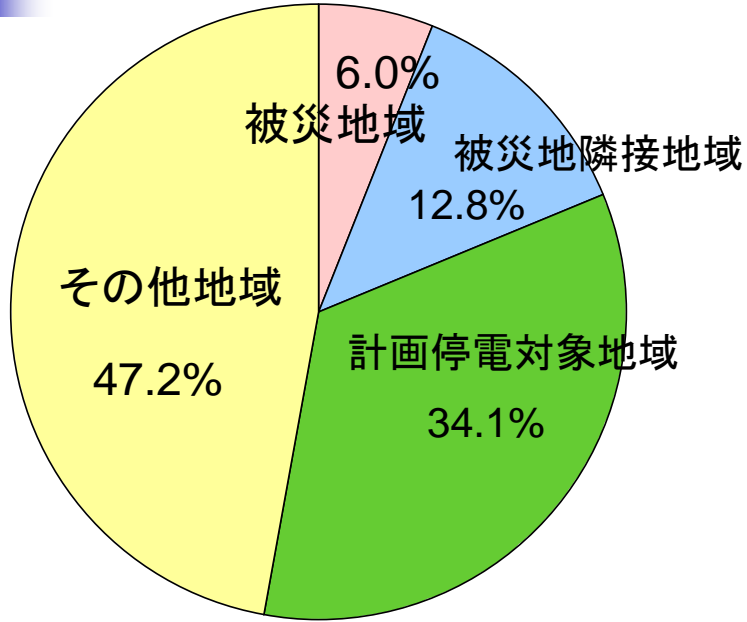
(単位:百万円、端数切捨て)



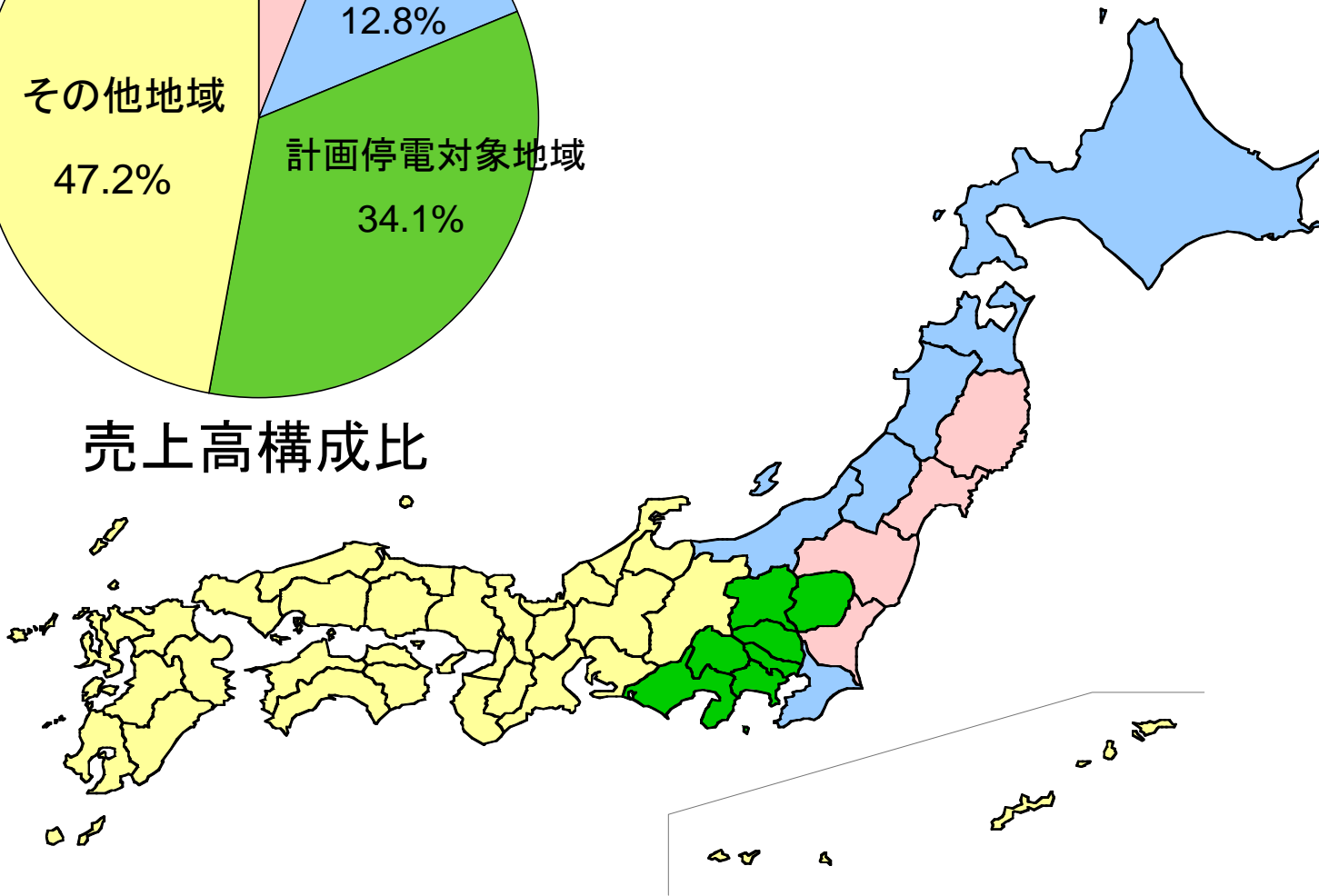
第50期(2011年3月期)キット製品地域別売上高



第50期(2011年3月期)地域別売上高構成比



売上高構成比

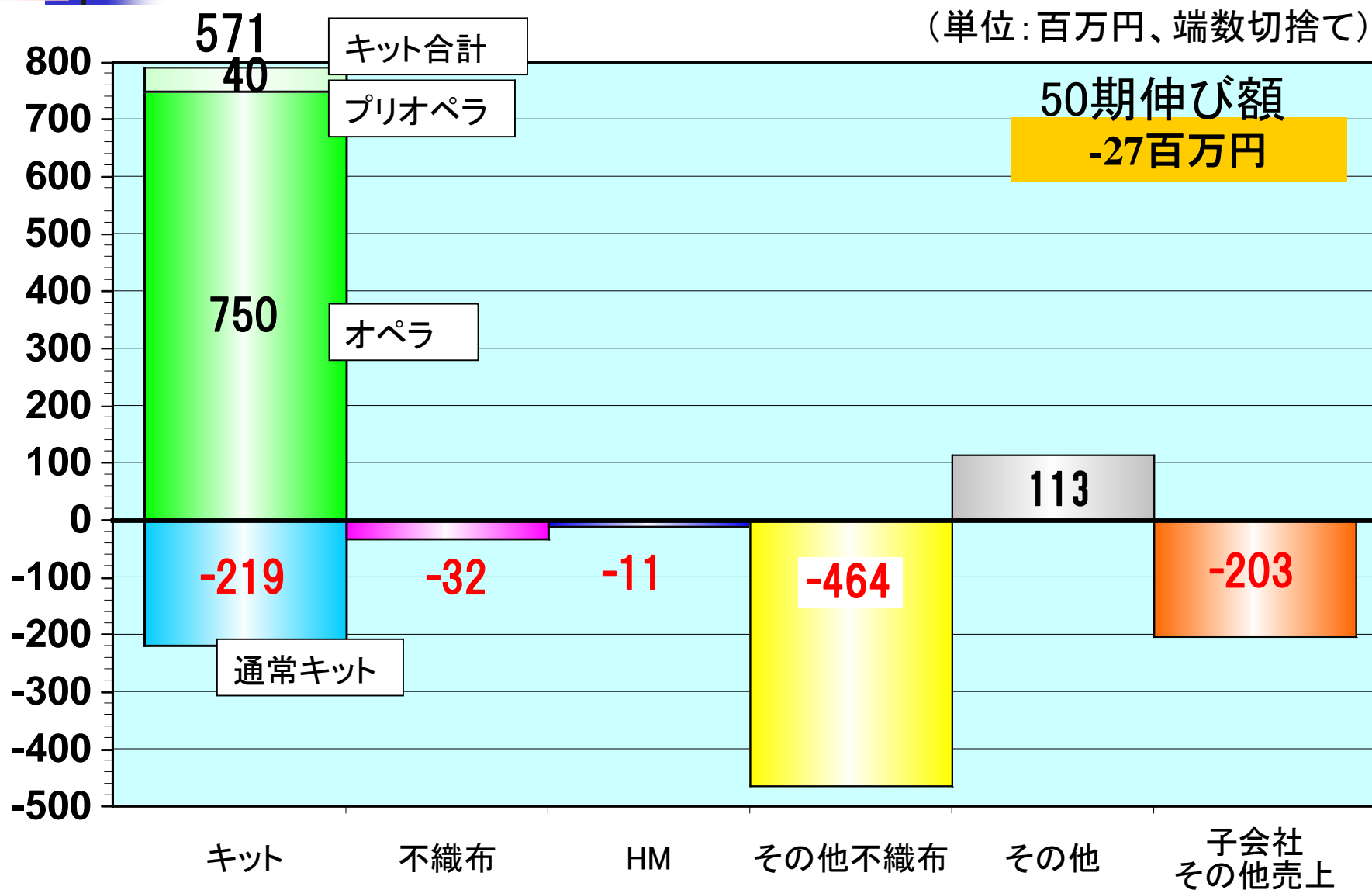


業績の概要

第50期(2011年3月期) 損益計算書

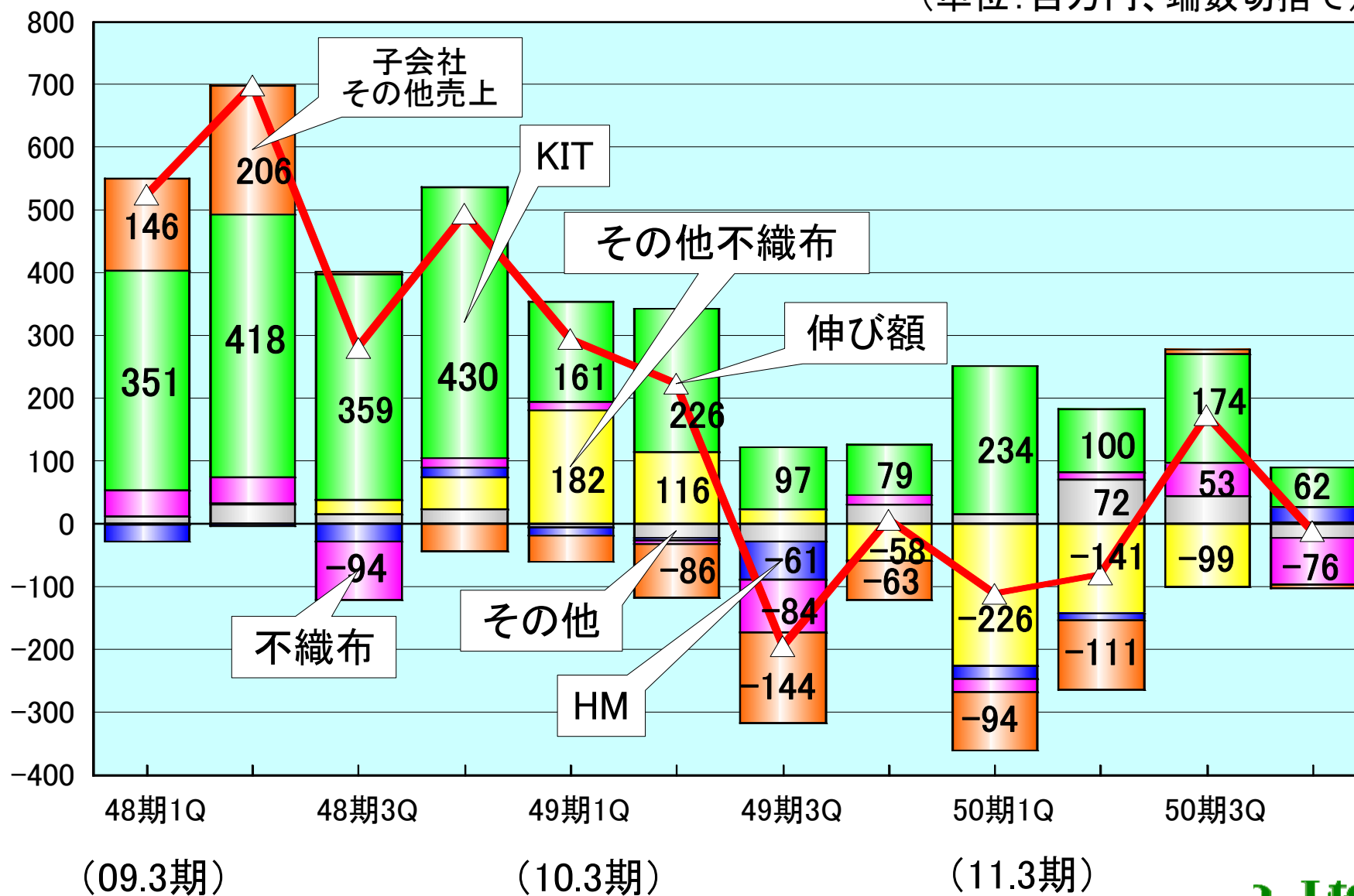
単位:百万円 切捨て	10.3 49期実績		11.3 50期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	伸額	伸率
売上高	31,339		31,311		△27	99.9%
営業利益	7,974	25.4%	8,601	27.5%	626	107.9%
経常利益	8,020	25.6%	8,561	27.3%	541	106.7%
当期純利益	4,921	15.7%	4,453	14.2%	△467	90.5%
E P S	315.74円		283.10円			

第50期(2011年3月期) 主な製品の売上高伸び額



第50期(2011年3月期) 四半期別売上高伸び額の内訳

(単位:百万円、端数切捨て)





第50期(2011年3月期) ポイント

- ・東日本大震災の影響を受け単体の3月売上高が前年比96.1%となる
- ・地震発生による棚卸資産評価減及び、工場復旧費用として1,054百万円が特別損失で発生



第50期(2011年3月期) ポイント

- オペラマスターの新規獲得不足!!
- 新製品の開発遅れ
- 生産増で原価低減
- 販売管理費の抑制
- 前年度発生 of 新型インフルエンザによる影響
(3Qで影響終了)
- 子会社外部売りの売上げ減少
(2Qで影響終了)

第51期見通し



第51期見通し

■ 需要の見通し(売上高要因)

- ・ 被災地域を中心に東日本の手術件数が減少すると予測
「施設の一部崩壊」「被災地へ医師、看護師が応援」
「計画停電による影響」「材料欠品による影響」

■ 工場での計画停電を考慮(原価上昇要因)

- ・ 現在茨城県は被災地域であることから計画停電対象外地域となっているが、今後電気需要が多くなる時期にどうなるかは未定のため、夏場に操業が落ちることを想定

第51期見通し

■一部製造及び出荷に影響の出ている製品は5月中旬で通常供給体制に戻る予定

- ・P.T.ホギインドネシア等から人員を派遣
- ・一部不足している材料は代替品等での対応

■設備の復旧

- ・美浦第二工場でのキット生産を5月初旬から開始(現在は筑波工場にラインを増設し対応)

第51期見通し

■設備投資・償却について(原価上昇要因)

- 新メッキンセンターの稼働は5月を予定
(建物は2月に取得済み)
- ガーゼ折り機の稼働開始
- 手術管理システムのリニューアルで償却開始
- 新キット工場等については今後再検討

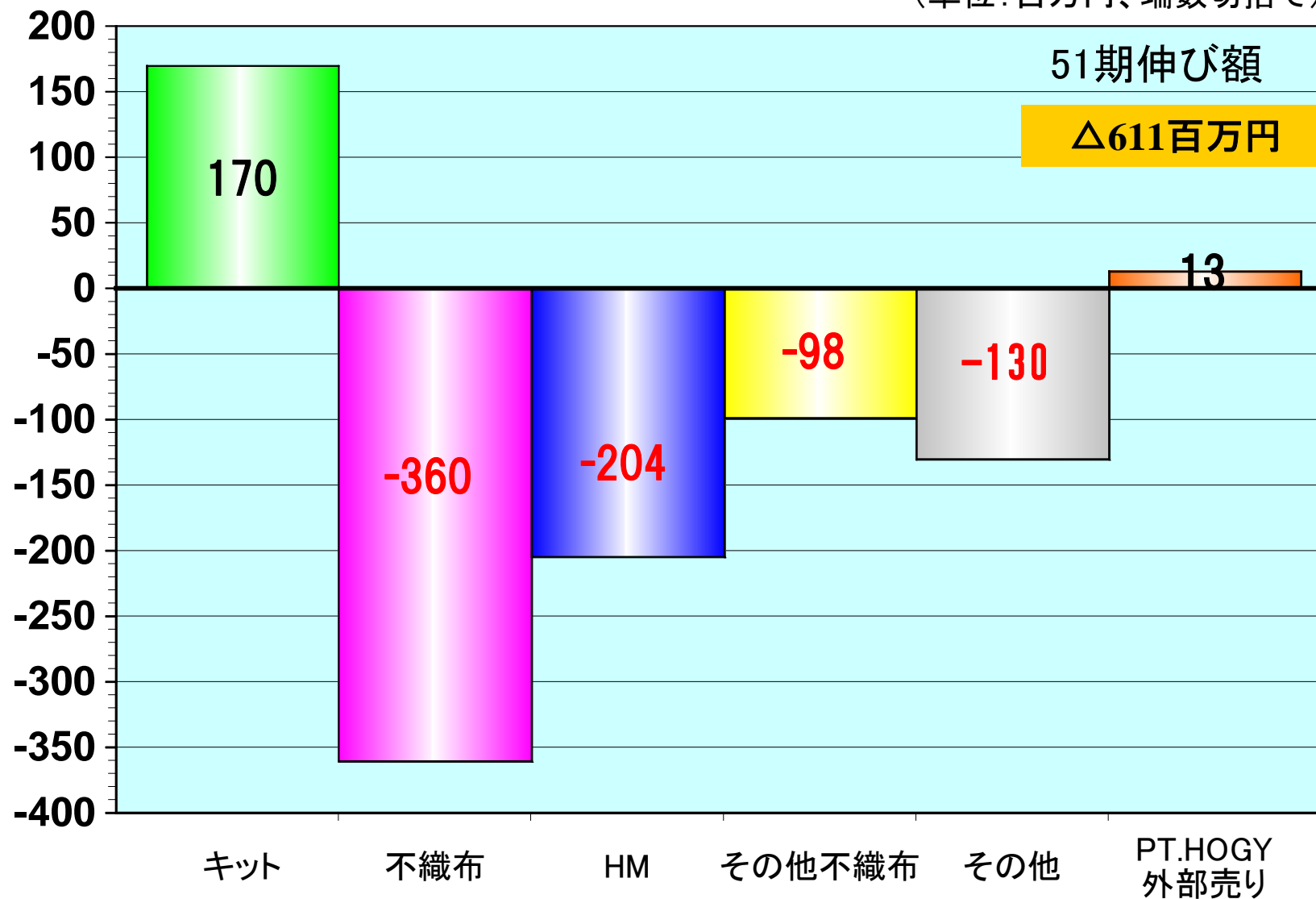
* 業績見通しは、現時点で想定しうる事象を考慮
進展があれば見直しを開示

第51期(2012年3月期) 損益計算書

単位:百万円 切捨て	11.3 50期実績		12.3 51期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	伸額	伸率
売上高	31,311		30,700		△611	98.0%
営業利益	8,601	27.5%	6,900	22.5%	△1,701	80.2%
経常利益	8,561	27.3%	6,970	22.7%	△1,591	81.4%
当期純利益	4,453	14.2%	4,200	13.7%	△253	94.3%
E P S	283.10円		267.00円			

第51期(2012年3月期) 主な製品の売上高伸び額

(単位:百万円、端数切捨て)





第51期(2012年3月期) ポイント

現時点で想定しうる事象をすべて織り込む

- 被災地域での手術件数大幅減少
- 関東での手術件数減少、営業活動の抑制
- 工場復旧、医療機関への安定した製品提供を行うことを第一優先課題とする
- 滅菌センター稼働による償却費増加
- 積極的に試験研究を進める

今後の対応

■安定的な製品の製造供給体制を可及 的速やかに構築

- ・東日本大震災を受け社内の生産体制の見直しと、
今後の設備投資への検討項目の追加

今後の対応

■研究開発部門の強化

「医療の現場に貢献する製品の開発」

研究開発本部設立

「基礎研究部門」「開発部門」「企画開発部門」

- ・医療安全
- ・再生医療
- ・低侵襲
- ・既存製品開発



今後の対応

■業績の安定成長

- ・オペラマスターシステムの強化
- ・新製品の販売強化
- ・海外(インドネシア)販売の強化

「インドネシアに販売孫会社を7月設立予定」

業績の詳細



オペラマスター進捗状況

売上高 : 8,078百万円 (+750百万円 : 110.2%)

50期累計契約件数:

新規: 20件 (102,000才へ増加)

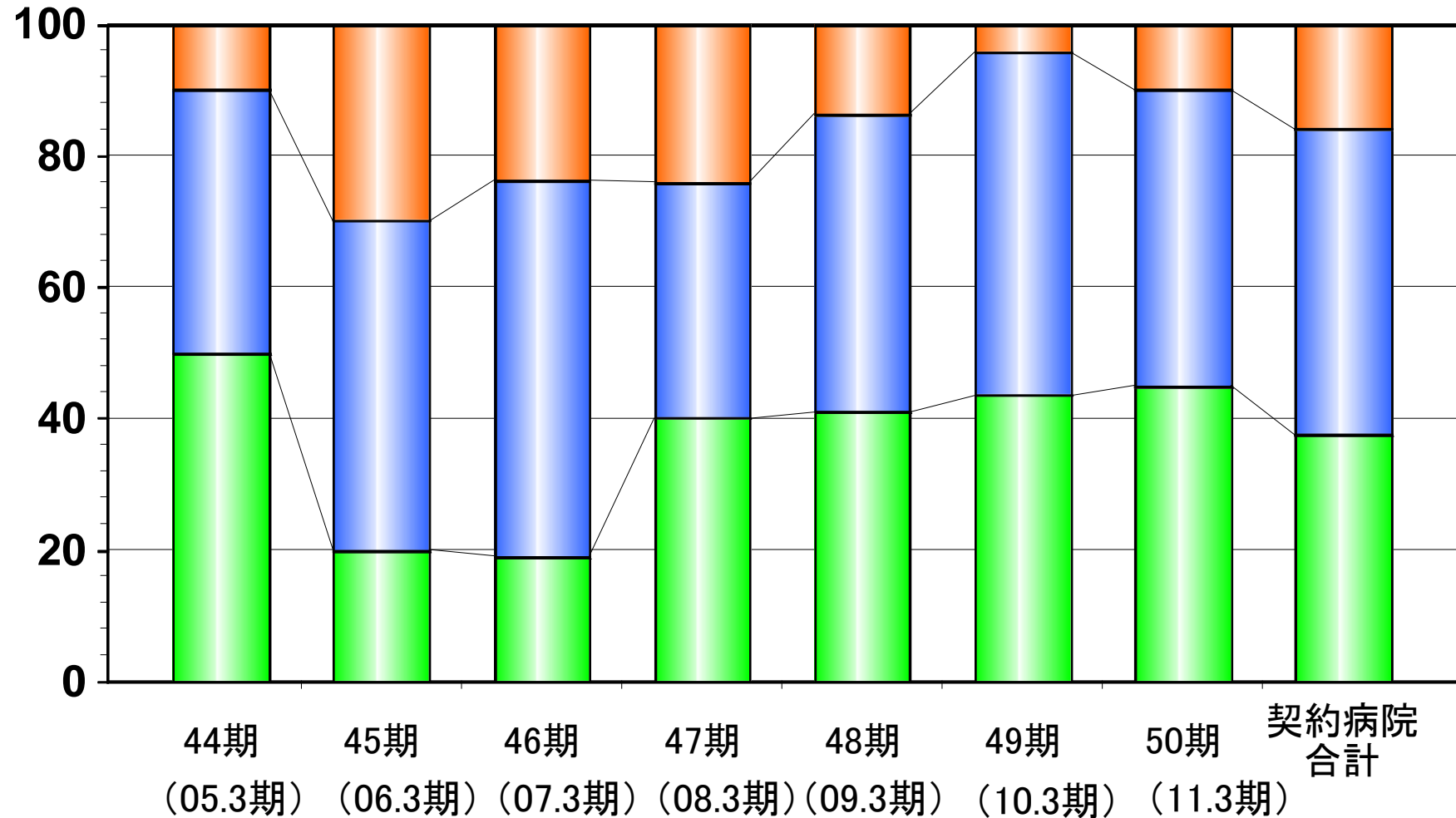
- ・大病院 : 9件
- ・中小病院 : 11件

解約: 11件 (37,000才へ)

オペラマスター契約病院規模割合

(単位: %)

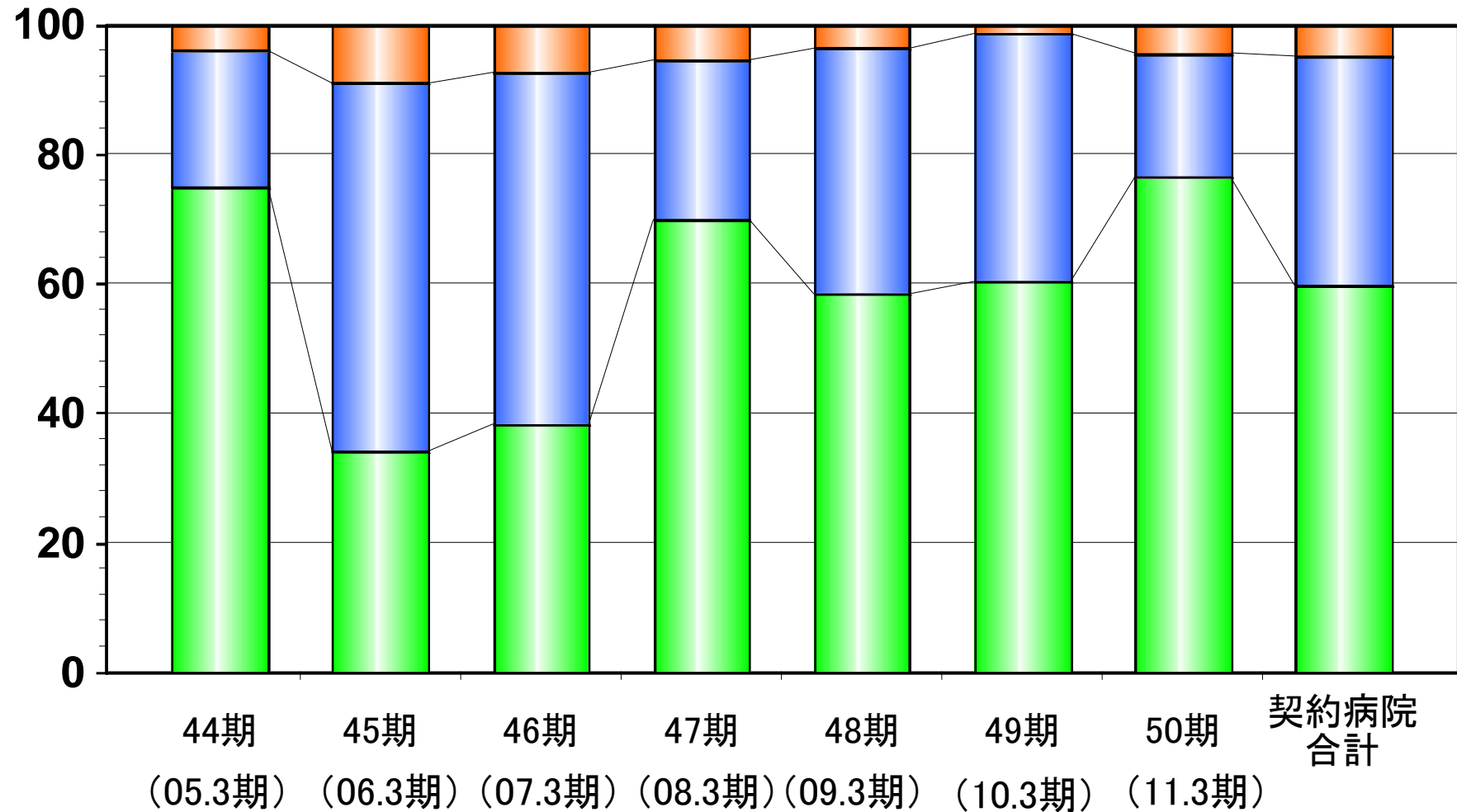
2000未満 5000~2000 5000以上



オペラマスター契約病院規模別売上高割合

(単位: %)

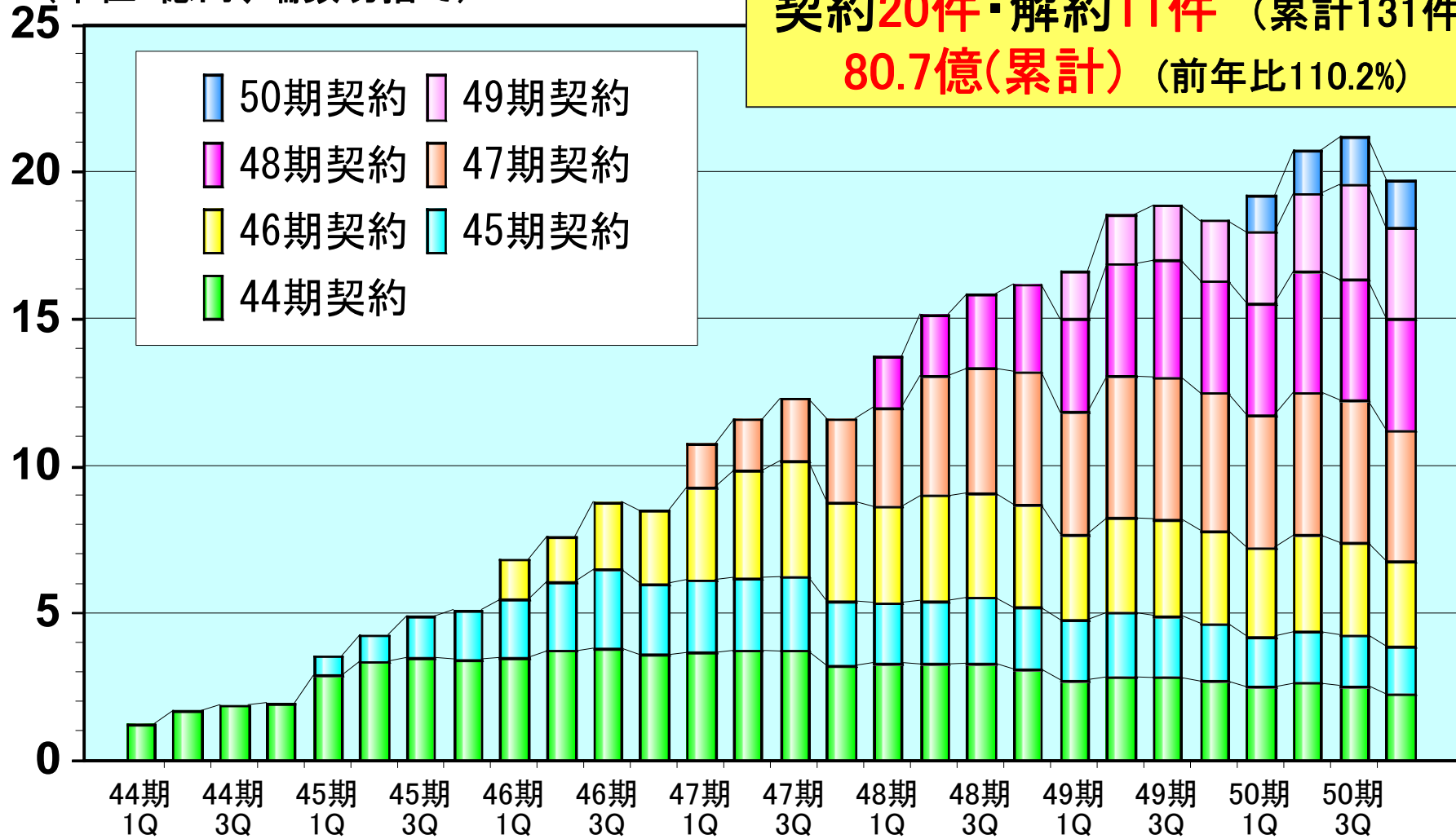
2000未満 5000~2000 5000以上



オペラマスター売上高推移

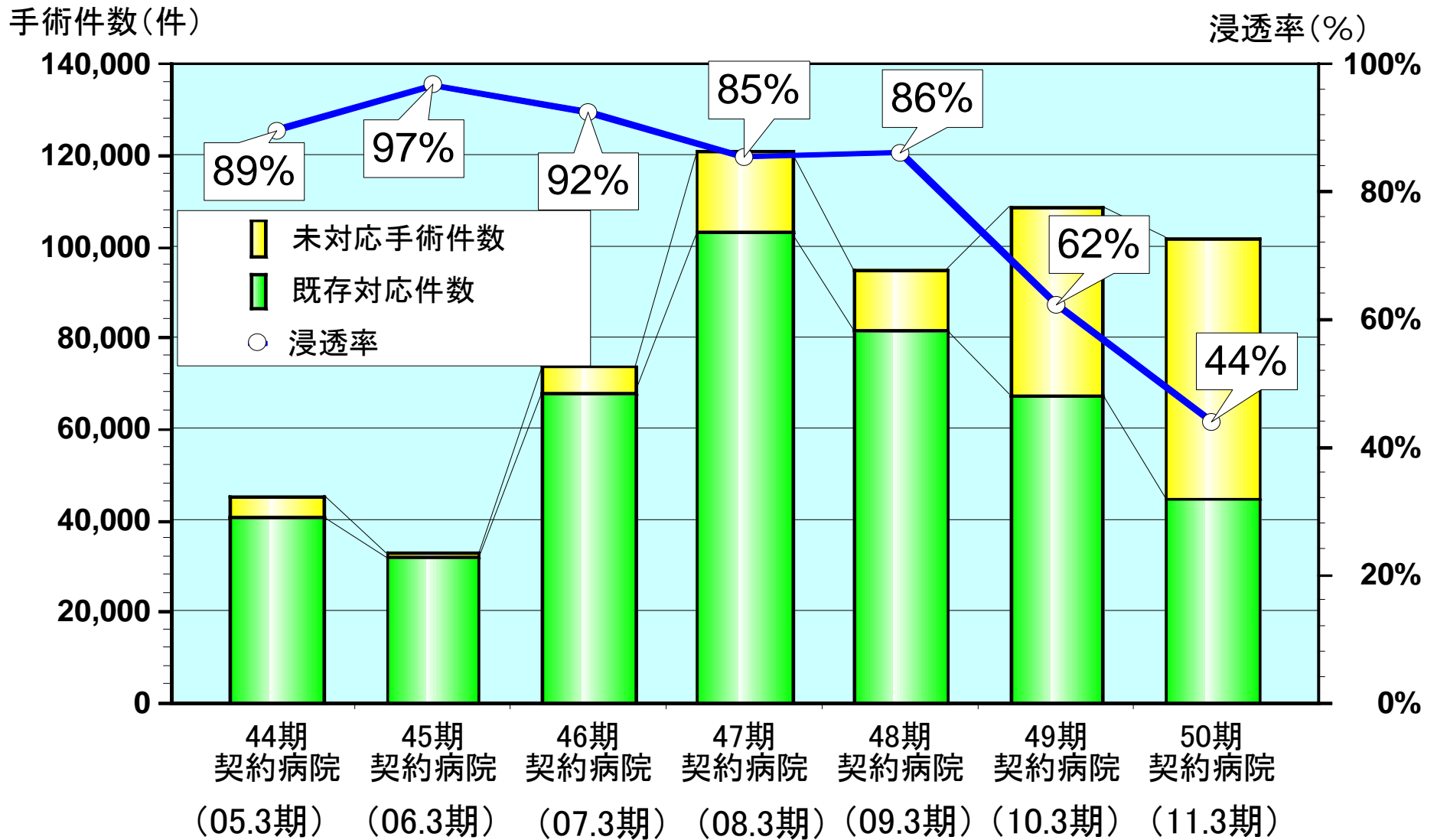
(単位: 億円、端数切捨て)

契約20件・解約11件 (累計131件)
80.7億(累計) (前年比110.2%)



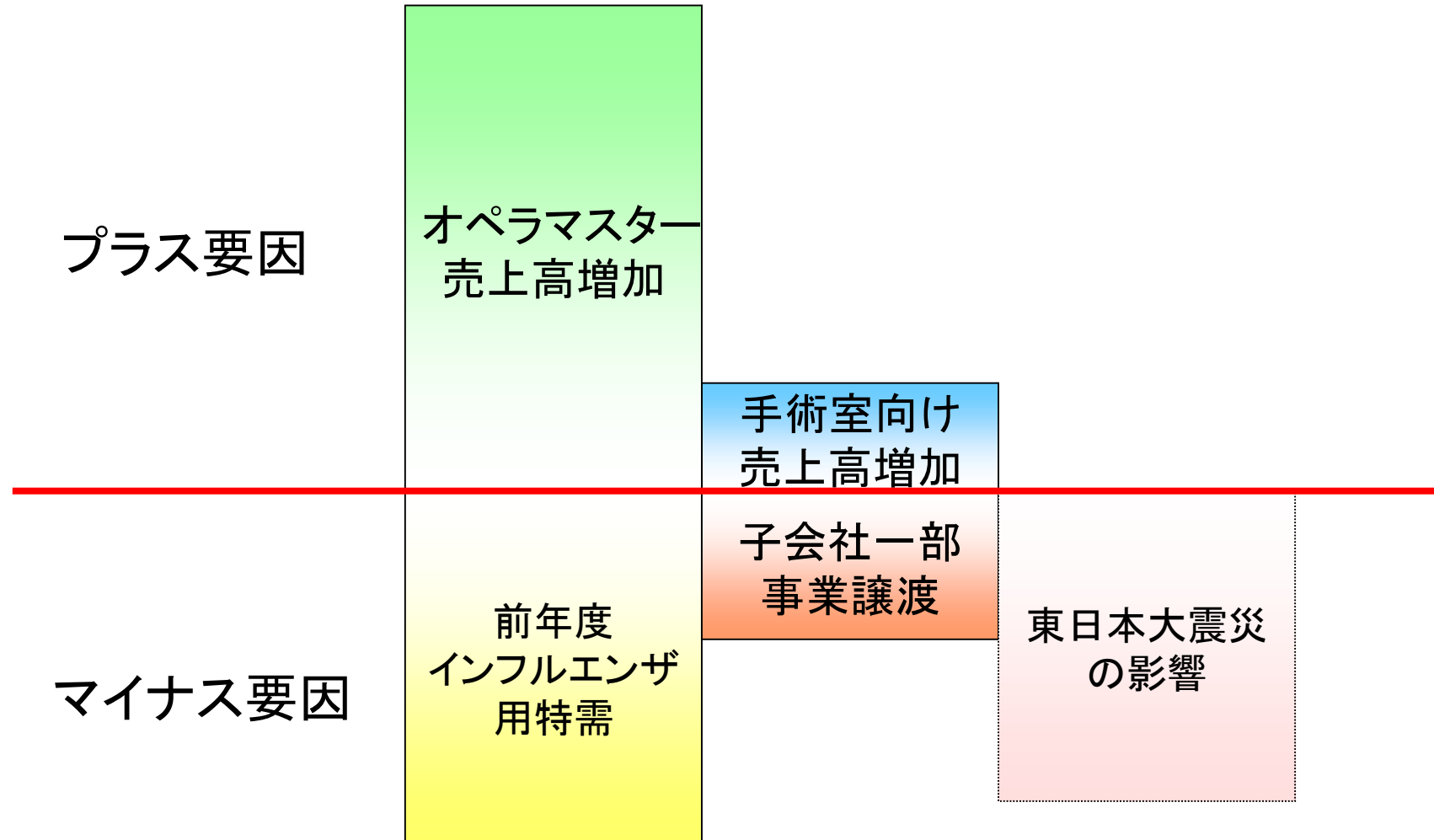
(05.3期) (06.3期) (07.3期) (08.3期) (09.3期) (10.3期) (11.3期) **., Ltd.**

オペラマスター浸透率・手術件数(契約期別)



* 50期末の状況

売上高変動のポイント



第50期(2011年3月期) 損益計算書

単位:百万円 切捨て	10.3 49期実績		11.3 50期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	伸額	伸率
売上高	31,339		31,311		△27	99.9%
売上原価	15,143	48.3%	14,829	47.4%	△314	97.9%
売上総利益	16,195	51.7%	16,482	52.6%	286	101.8%
販売費及び一般管理費	8,220	26.2%	7,880	25.2%	△340	95.9%
営業利益	7,974	25.4%	8,601	27.5%	626	107.9%
営業外損益	45		△40		△85	
経常利益	8,020	25.6%	8,561	27.3%	541	106.7%
特別損益	83		△1,086		△1,169	
当期純利益	4,921	15.7%	4,453	14.2%	△467	90.5%
E P S	315.74円		283.10円			



第50期(2011年3月期) 原価、販管費、営業外 分析

32

原価率: 前年比 0.9%改善

- ・生産性の改善
- ・売上構成比のミックス
- ・償却費の減少
- ・価格改定差異の減少
- ・49期2Q工場設計費用計上
- ・東日本大震災の対応

販管費: 前年比 Δ 340百万円

- ・人件費 Δ 145百万円
- ・減価償却費 Δ 72百万円

営業外: Δ 40百万円(前年比:85百万円減)

- ・為替差損:152百万円計上



第50期(2011年3月期) 特別、設備投資、償却 分析

特別: Δ 1,086百万円(前年比:1,169百万円減)

- ・特別損失:災害による損失 1,054百万円
 - :50周年費用 90百万円計上
 - :資産除去債務会計基準の適用 32百万円
- ・49期に孫会社取得時の負ののれん 一括計上:83百万円(特益)

設備投資:4,311百万円(前期比:594百万円増)

- ・滅菌センター設備:2,732百万円

償却:2,277百万円(前期比:280百万円減)

- ・原価:1,634百万円(前年比:208百万円減)
- ・販管費:642百万円(前年比:73百万円減)

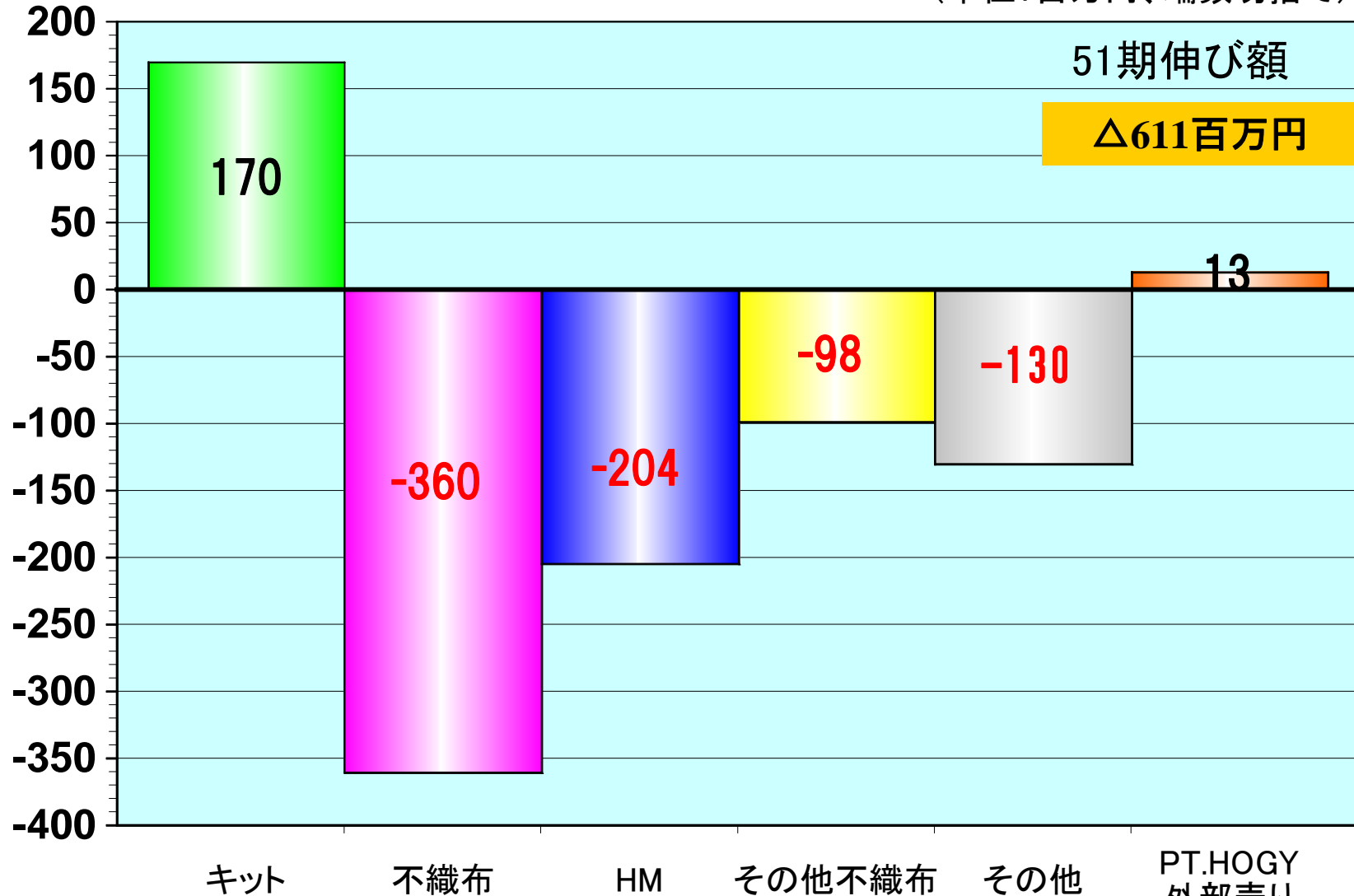
第51期(2012年3月期)詳細計画

第51期(2012年3月期)損益計算書

単位:百万円 切捨て	11.3 50期実績		12.3 51期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	伸額	伸率
売上高	31,311		30,700		△611	98.0%
売上原価	14,829	47.4%	15,500	50.5%	670	104.5%
売上総利益	16,482	52.6%	15,200	49.5%	△1,282	92.2%
販売費及び一般管理費	7,880	25.2%	8,300	27.0%	419	105.3%
営業利益	8,601	27.5%	6,900	22.5%	△1,701	80.2%
営業外損益	△40		70		110	
経常利益	8,561	27.3%	6,970	22.7%	△1,591	81.4%
特別損益	△1,086		△20		1,066	
当期純利益	4,453	14.2%	4,200	13.7%	△253	94.3%
E P S	283.10円		267.00円			

第51期(2012年3月期) 主な製品の売上高伸び額

(単位:百万円、端数切捨て)





第51期(2012年3月期) 売上高 計画

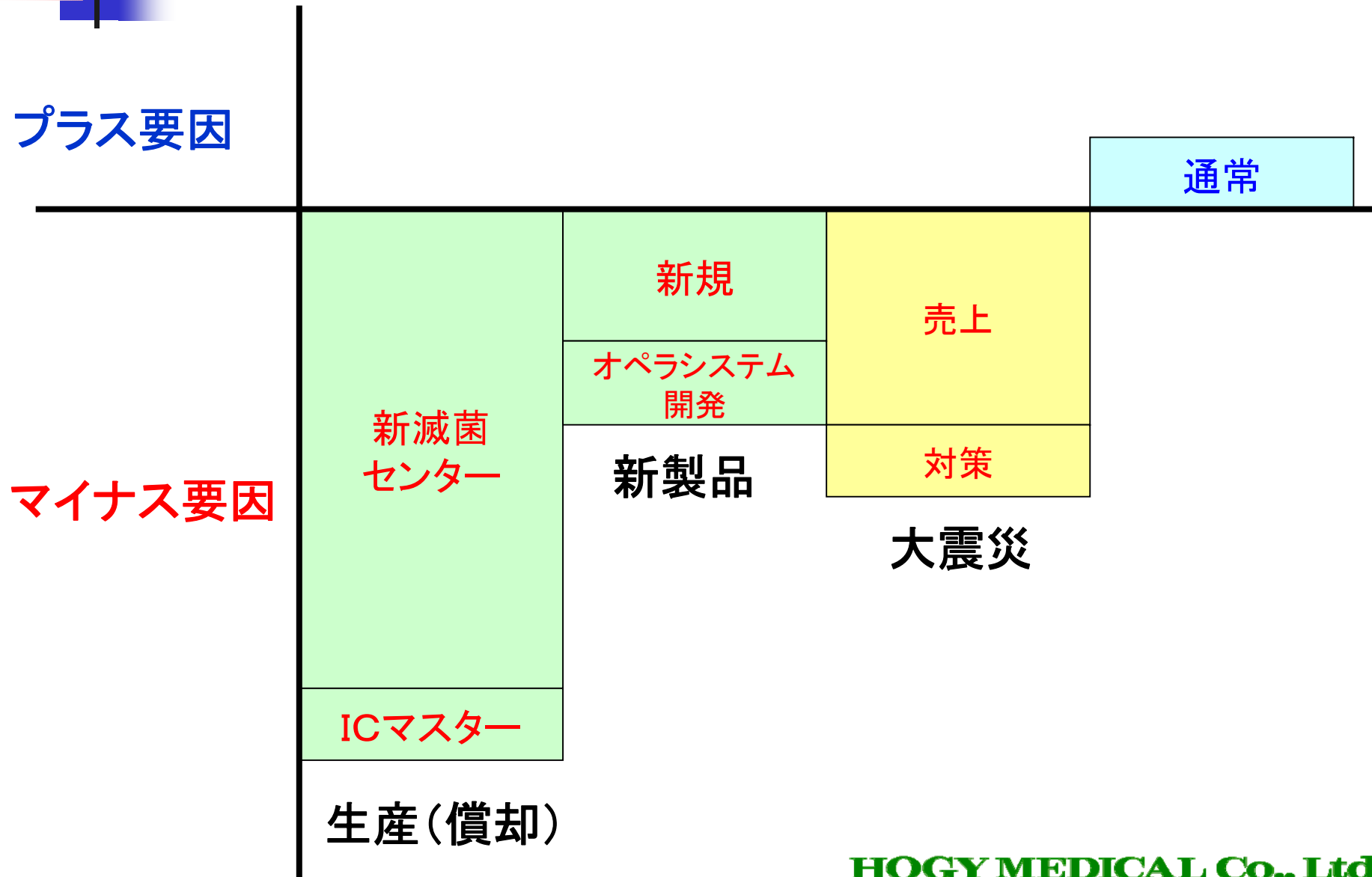
● オペラマスター

- ✓ 病院ごとの売上高計画を立てることが困難な状況から、計画は見通しが立ち次第公表予定

● 地域ごとによる営業活動

- ✓ **東日本**: 医療機関が震災の対応を行っているため、当面既存製品での対応を主とする
- ✓ **西日本**: 工場の生産遅延が解消され次第活動の活性化を行い新規売上高増加を目指す

第51期(2012年3月期) 利益 計画





第51期(2012年3月期)
設備投資、償却 計画

39

設備投資: 1,885百万円(前期比: 2,426百万円減)

償却: 3,330百万円(前期比: 1,053百万円増)

- ・原価: 2,555百万円(前年比: 921百万円増)
- ・販管費: 775百万円(前年比: 133百万円増)

配当: 年間80円(連結配当性向: 30%)

- ・業績向上の場合は増配を検討

HOGY



2011年4月21日(木)

第50期(2011年3月期) 決算説明会

(2010年4月1日～2011年3月31日)

代表取締役社長 最高経営責任者(CEO) 保木 潤一
取締役 管理本部長 高橋 一夫